

教育長日記 (平成26年4月21日)

青い空に浮かぶ白い雲 60

—社会教育、本年度の取組—

東大和市教育委員会 教育長 真如昌美

(今日の言葉) 1頭のライオンが指揮する100頭の羊は、1頭の羊が指揮する100頭のライオンに勝つ
(クラウゼビッツ)

◆社会教育、本年度の取組

社会教育課

- ・様々なコミュニティーによる新しいスポーツ行事を実施します。
- ・プラネタリウムの新しい投影機メガスターⅡBで夢とロマンを与える投影を実現するとともに、博物館来館者数を増やします。

博物館はメガスターⅡBの登場や、二階に新しく吉岡画伯の常設展示コーナーを設けるなど、積極的な運営に取り組んでいます。今年度は、企画展示やロビー展示など常に新鮮さを追求するとともに、積極的なPRを通してお客様に繰り返し来館してもらえよう努めていきます。

公民館

- ・一層開かれた公民館を運営します。
- ・5館が連携し、情報の交換を進める中で「地域の力」を高める公民館事業を推進します。

本年度は、老朽化が目立つようになった中央公民館の耐震補強工事を8月から1月にかけて実施します。期間中はご不便をおかけすることもありますご理解ご協力をお願いします。また、新しく2年間の継続講座として「うどん講座」を開設します。11月の小麦の種まきから6月の刈り取りを経て手打ちうどん料理までの講座です。

図書館

- ・地域の情報拠点として多様化・高度化する市民ニーズに応えていきます。
- ・開館30周年(昭和59年4月15日開館)を機会にして図書館の在り方考えます。

図書館のコンピュータ機器の賃貸契約が9月で終わり、新たに5年間の賃貸契約を結びます。これを機に、図書館のホームページのリニューアルに取り組み、児童生徒に図書館や本の魅力を伝え、読書好きな子供を増やしていきます。中央図書館は、昭和59年4月開館で今年度30周年を迎えます。

1頭のライオンが指揮する100頭の羊は、 1頭の羊が指揮する100頭のライオンに勝つ ドイツの軍略家 クラウゼビッツ

先日、全国市長会発行の「市政」という雑誌が回ってきて、それをばらばらとめくっていたら、市町村アカデミー客員教授 大塚康男氏の「危機管理のリーダーシップ・危機管理体制について」という文が目にとまりました。

大塚氏は、台風、大規模地震、津波、火山の噴火などの自然災害をはじめ、原子力災害、伝染病疾患、経済的な混乱などの危機的な状況においては、精神的に弱い者は、パニック心理に陥り、的確な判断が下せなくなる。いかに知的に優秀であっても、精神的に不安定な者はトップリーダーになる資格はないと言っています。その際、引出した言葉がドイツの軍略家クラウゼビッツの

「1頭のライオンが指揮する100頭の羊は、
1頭の羊が指揮する100頭のライオンに勝つ」

という言葉です。さらに、「治にいて乱を忘れず」と言う言葉から平時におけるリーダーシップのありようを記しています。

職センター建設と書いてしまいました。正しくは「学校給食センター建設」です。ここに訂正してお詫びいたします。